

田中復興大臣の岩手県訪問ぶら下がり記者会見録
(令和2年8月5日(水) 15:30～15:37 於) 大槌町文化交流センター)

1. 発言要旨

皆様、こんにちは。

本日は、宮古市及び大槌町を訪問させていただきました。秋鮭の不漁による原料不足への対策として進められている養殖の事業だとか、あるいは町独自の小中一貫の義務教育を通した今後の被災地の復興や、発展を担う人材の教育育成に関する取り組み、こういうことについてお話を伺って、意見交換したところでございます。また、津波遺構として保存整備されておりますホテルを見学させていただきました。現地を訪れ、語り部さんから直接お話を伺うことができたわけでございまして、震災の記憶や教訓の伝承の大切さを改めて実感したところでございます。今後も現場主義を徹底させていただき、一日も早い被災地の復興の実現に向けて、全力で取り組んでまいりたいと思います。

岩手県は、コロナにかかった人は少ないんですけれども、一方において、やはりコロナの関係で、観光客だったり、諸々の事業等にも影響が出ているわけでございますし、我々もいろいろと新型コロナウイルス対策ということも含めて、岩手県の発展に緊張感を持って取り組んでまいりたい、このように思っております。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 今、コロナということでお話がありましたけれども、被災地では面整備が終わって、施設の整備もあらかた終わって、これから生活を始めようという矢先のコロナ禍でございました。そんな中で、収入がかなり減ってしまった人、たくさんいらっしゃる中で、この復興関係の枠組みの、予算の枠組みの中で、何かコロナで困っている被災自治体を支援するようなことができないのかどうか、大臣のお考えを伺いたいんですが。

(答) 復興の事業としては、先般国会で法律の改正をさせていただきました、この地域は概ね5年という流れの中で、しかし、継続するものはいろいろと随時対応していこうということでございまして。コロナは、全国的な、世界的な話でございまして、特に私どもの取り組んでおります復興対象の地域の観光であったり、諸々の製品の販売先のことであったり、ありとあらゆることに全て影響が出ておるわけでございます。きめ細かくいろんなお仕事の関係を確認させていただいたり、自治体の皆さんの御要望を承った

りしながら、対応していかなければならないと、非常に緊張感を持った対応が求められていると、このように思っているところがございます。しっかりと頑張っていきたいと思っております。

(問) 今日は宮古市と大槌町を御視察されて、意見交換されて、実際、大臣として今、復興被災地の抱えている課題と、これから5年という中で、より進めていくべき事業について、改めてお聞かせいただけますでしょうか。

(答) ハード面は、この発災から約10年ということで、めどが立ってきつつあると思うんですが、まだまだ人口は減少したままでありますし、生業(なりわい)の部分も、やはりこれからということが多くございます。そういう中であって、農業のほうも重要でございますし、また水産物に関しては、御存じのようにサンマ、イカ、サケというような主たる水産物が非常に不漁でございます。こういうものをきちっと補う養殖であったり、いろんな努力を挙げてしておるわけでございます。こういうことの取り組みによって、これから、この地域がやはり希望を持って生活ができる、また仕事にきちっと取り組んでいけるような、若い人たちも定着した生活のできる希望の持てる地域として、発展ができるように努力していかなければいけないと、改めて思ったところでございます。

また、自然災害というのは、台風もそうでありますけれども、何がいつどのような形であるかわかりません。やはり災害の記憶というものが正しく理解されて、きちっと継承され、日々の生活の中で生かされていくということも重要でございまして、日本全国のみならず、世界中の人たちに、こういうところの遺構などに来ていただけるような努力もしていかなければいけないと、このように思っているところでございます。

以上でございます。

(問) お盆が来ますので、帰省ということで首都圏から大都市から田舎のほうにということで、政府の中でもいろいろ考え方がありようですし、自治体の首長さんなどからは、できれば帰省しないようにというような話もありますが、大臣のお考えをと思っております。

(答) お盆ということで、ふるさとに行くということは、もう日本の一年間の中でも非常に重要なこととございますし、お盆に合わせて帰省されるとかということについて、政府としても差し控えるべきだとか、そうではないとかということが、いろいろと報道されておるんですが、そういうことではなくて、3密をきちっと避ける。大声を出さないとか、マスクをするとか、あるいは手洗いを励行するとか、ちゃんとお熱を測っていただいて対応していただ

くとか、こういう基本的なことの感染対策に、ひとつ心がけていただきたい。復興庁としてもそのようにお願いを申し上げておるところでございます。

(以 上)